



十文字西地区 交流センター報

●令和5年度－9号
令和5年12月1日発行
〒019-0513
十文字町植田字一ト市330
☎ 44-3100 FAX 44-5243

十文字西地区交流センター
センター長 近 孝夫



西地区の皆様お元気ですか。師走を迎え一段と寒さが肌に凍みるようになりました。今年も残すところ1か月余り、慌ただしい毎日が続きますが「来る年」に向けた準備に勤しむことかと思われます。

さて、今冬はコロナ対応に加えてインフルエンザ対応と大変な年度末になりそうです。西地区交流センターでは苦しい時こそ「地域住民が一丸」となれる事業を計画しようと考えています。その一例が11月5日に実施した短時間で実りある「センターまつり」でした。正味3時間未満でしたが観客数は200人を超える数でありました。大変有り難く心より御礼申し上げます。

ところで、事務局としては常に地域住民の「生涯学習事業」や「地域づくり事業」に少しでも貢献できるように粉骨砕身の如く努力したいと思っておりますが、しかし、その実現に向けては「住民の声」が非常に大事になります。

そこで、地域住民で構成されている運営協議会の各委員と事務局担当者は、いつでも皆様からの「生の声」をお待ちしております。今後ともご意見、ご提案を宜しくお願いいたします。



12月のひと口メモ (12月の歳時記を参照)



●師 走 (しわす)

師走は12月の別名ですが諸説があります。「師が慌ただしく走る馳せる」月」から転じたとする説が有力です。その他「年が果てる」や「四季の果てる月」等の説もあるそうです。

●冬 至 (とうじ) : 22日

太陽の位置が一年で一番低いところに来る最も日が短い日です。冬至は太陽が生まれ変わる日とされ、力が弱くなった太陽が冬至を境に蘇ると信じられてきました。

●大晦日 (おおみそか) : 31日

あまり知られていませんが、毎月の月末を晦日 (みそか) と言います。12月は1年で最後の晦日なので「大晦日」と呼ばれます。

～ 偉人の言葉に学ぼう ～



◆「人生を動かすボルテール (17～18世紀・フランス) の言葉」より

「神は人間に心配事を与えた償いとして人間に希望と睡眠を与えた」

《意味》希望を持って生き、夜にぐっすりと眠って休息するということが、人間の幸福にとっていかに大切か」ということです。

★★★第4回センターまつりを実施しました 11/5(日)★★★

●十文字西地区交流センター運営協議会の最大事業であるセンターまつりをコロナ禍を経て3年ぶりに実施しました。地域住民による陶芸や手芸及び十文字和紙や川柳等の創作活動展並びに増田高校農業科学科の物販等、加えてにしの杜保育園児のおゆうぎと若手演歌歌手による歌謡ショーを楽しみ、最後は抽選会でまつりを閉じました。（参加者は200名を超えました）



●近センター長あいさつ



●にしの杜保育園児によるおゆうぎとインタビューの様子



●「秋田の演歌の王子様」神崎りくさんによる歌謡ショーの様子。素敵な歌と楽しいトークに皆さんが癒されていました！



●十文字陶芸同好会・十文字和紙の作品展示と、十文字和紙工作体験コーナーの様子



●十文字川柳会・手芸クラブの展示



●増田高校農業科学科の物販（小豆茶の試飲がありました）



●輪投げあそび